



大宜味



広報 No.242

KOHO OGIMI 2015年5月1日



地域の思いが詰まった校舎で 最後の入学式

日時:4月8日

撮影場所:喜如嘉小学校・大宜味小学校・塩屋小学校

※残念ながら津波小学校の入学者はいませんでした。

村長：宮城 功光

副村長：

会計管理者

長は係長
昇は昇任
新は新採用

臨は臨時
嘱は嘱託

兼 会計管理者
兼 会計課長
島袋 経子

企画観光課長
山城 均

財務課長
知念 和史

兼 総務課長
兼 村史編纂室長
神里 富松

☎44-3007

☎44-3002

☎44-3001

出納員

観光商工係

企画係

税務係

財政係

人事係

総務係

村史編纂室

長 山城 咲代
前田 泰葉
出納業務

新 志良堂 寛太
安里 瞬
観光・広報・環境保全
商工業・産業・労働行政・中水道事業

長 藤田 元也
観光振興・エコリズム・景観計画

長 佐久川 紀亮
宮城 光一
総合計画・北部振興事業・国土利用計画・一括交付金
土地行政・統計・北部振興事業・過疎計画

長 真喜志 亮
村、県民税・たばこ税・村民税（法人）

臨 知念 伸
真謝 えり子
軽自動車税
土地評価・固定資産税徴収

長 福地 亮
野原 侑也
交付税・起債
財政計画・予算・基金

長 島袋 未来
田仲 不二美
人事関係・互助会
給与・公務災害・共済事業

長 前田 佳政
前田 望
議会・例規・告示・情報公開
入札契約・情報関係・選挙・防災・行政相談

嘱 河津 多恵子
嘱 新城 喜代美
村史編纂業務
村史編纂業務

上地 若奈
村史編纂業務

保育所

喜如嘉保育所

塩屋保育所

☎44-3754

☎44-2500

高江洲 悦子 委託
稲福 洋子 委託
宇良 由香 調理員
新 仲村 和香奈 保育士
浜元 涼子 保育士
友寄 順子 保育士
比嘉 悦子 主任
山川 和美 所長

島袋 忍 委託
金城 エリ子 調理員（委託）
新城 あゆみ 調理員
新高江洲 幸子 保育士
宮城 かおり 保育士
山城 千夏 保育士
新城 真奈美 保育士
宮城 みゆき 主任
与那嶺 照子 所長

大宜味村行政機構及び職員配置図

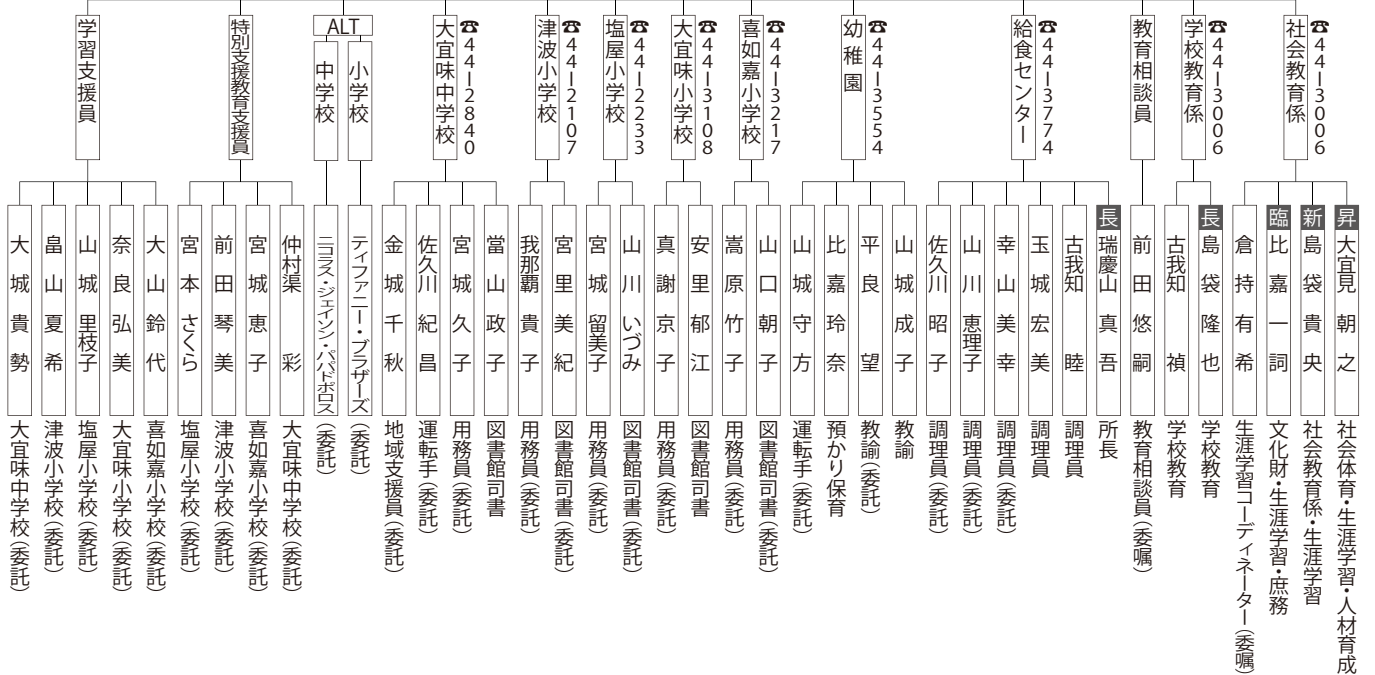
(平成 27 年 4 月現在)



農業委員会
☎44-3477
事務局長・大城 武
係長・住 秀 和

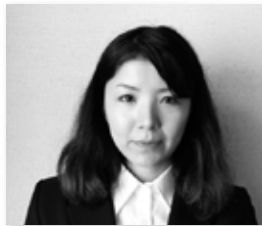
議会・監査
☎44-3117
事務局長・宮城 豊
主 事・松川 雄太

教育委員会
教育長・友寄 景善
教育課長・新城 寛
指導主事・大城 豊
開校準備室指導主事・我那覇 隆



新採用

今後の活躍に期待します。



つ は あい か
津波 愛佳
住民福祉課(屋古区出身)

本年度より住民福祉課の窓口
に配属となりました。村民の皆様
との触れ合いを大切にしていき
たいです。また、伝統行事や自然
豊かな大宜味村の発展と、住み
やすく安心・安全な村づくりに努
めたいと思います。温かいご指導
の程、宜しくお願致します。



し ら どう か ん た
志良堂 寛太
企画観光課(塩屋校区出身)

私は今年度より本採用となり
企画観光課に配属になりました。
出身地である大宜味村の為
に、今後働ける事を光栄に思い
ます。仕事はもちろん、地域活動
や、大宜味村のPRに尽力してい
きたいと考えております。大宜味
村の更なる発展の為、がんばりま
す!宜しくお願致します。



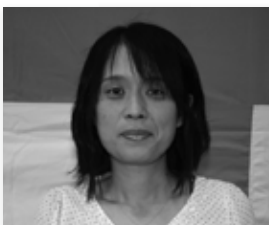
し ま ぶ くろ た か ひ さ
島袋 貴央
教育委員会(根路銘区出身)

私は今年度より教育委員会で
働くことになりました。大学を卒
業し、初めての社会人だからな
いことも多いですが、周りの方々
に助けていただきながら精一
杯、大宜味村に貢献できるよう
に努力していきますのでこれか
ら宜しくお願致します。



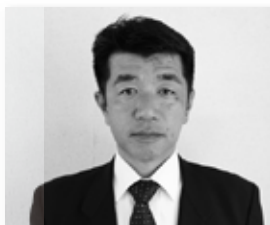
な か む ら わ か な
仲村 和加奈
喜如嘉保育所(塩屋区出身)

私は、生まれ育った大宜味村
で保育士として働くことをとて
も、嬉しく思います。自然を大切
にし、地域で子どもを育てる保育
を目指していきたいと思ってい
ますので、みなさんのご指導よろしくお
願致します。



た か え す さ ち こ
高江洲 幸子
塩屋保育所(根路銘区出身)

大宜味村での地域にある地域の
保育現場で、また働けることを大変
嬉しく思います。安心して子どもを
預けられるように、保育士としての
専門職に責任を持ち、楽しい保育
が出来るように務め、村民の皆様と
の触れ合いも大切にしながら日々
頑張っていきたいと思ってい
ます。御指導の程、宜しくお願致します。



が な は た か し
我那覇 隆
教育委員会 指導主事(うるま市出身)

4月から小学校統合移転準備
室担当としてお世話になります。
学校に通う子ども達が、学校で
働く職員が、学校を支える保護
者・地域の方々が、楽しく笑顔で
過ごせる学校づくりをめざして
頑張りますので、よろしくお願
致します。

退職者

永年お疲れ様でした。



し ま ぶ くろ ゆ き と し
島袋 幸俊
勤続年数：37年11ヶ月



み や ぎ く み こ
宮城 久美子
勤続年数：38年



な か か ん じ
名嘉 寛治
勤続年数：11ヶ月

平成27年度 大宜味村一般会計予算

【歳入歳出総額 4,941,160千円】

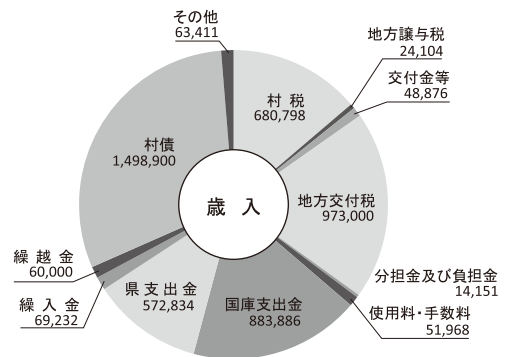
本村の平成27年度当初予算総額は、4,941,160千円で、対前年度870,789千円、率にして21.4%の増となっています。本年度は平成28年4月開校に向け着々と建設が進んでおります大宜味村立小中学校建設事業（事業費1,823,515千円）に重点を置いた予算組みとなっております過去最大の予算規模となっております。

歳入においては、村税が680,798千円（内、国有資産等所在市町村交付金484,126千円（2.3%の減））地方交付税973,000千円（内、普通交付税903,000千円、特別交付税70,000千円）対前年比で0.8%の増、国庫支出金883,886千円、38.1%の増、村債1,498,900千円、64.1%の増は小中学校建設事業及び国頭村・東村・大宜味村の三村で運営するごみ焼却施設建設費用のための国頭地区行政事務組合負担金に係るものが主となっています。

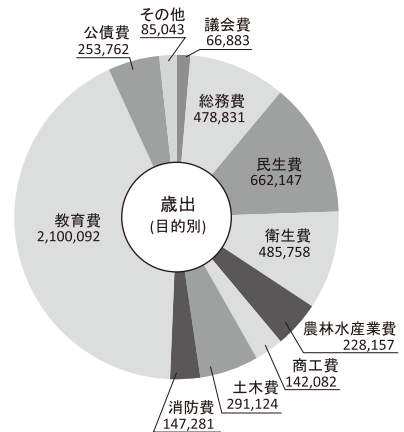
歳出においては、地域懇談会などの要望内容を踏まえた事業を含め、主要施策である小中学校建設事業、観光受入体制強化促進に係る事業や学力向上推進事業、減災対策事業などに沖縄振興特別推進交付金、道路・橋梁の修繕等に社会資本整備事業を活用した予算配分となっています。

今年度は大宜味村第4次総合計画の最終年でもあり、次期を意識しつつ、平成27年度重点事業を柱とし、各種補助事業等による財源確保を意識しながら限られた財源を創意工夫により活用し、喫緊の課題に迅速に対処することはもちろん、中長期的な視点に立って次世代に繋げる施策を計画的に推進していくことを基本方針としています。

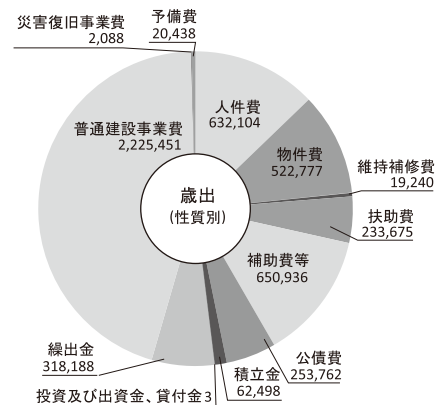
歳入		単位：千円・%		
区分	当初予算額	構成比	前年度比	
村税	680,798	13.8	1.5	
地方譲与税	24,104	0.5	△2.7	
交付金等	48,876	1.0	49.4	
地方交付税	973,000	19.7	0.8	
分担金及び負担金	14,151	0.3	△3.2	
使用料・手数料	51,968	1.0	1.8	
国庫支出金	883,886	17.9	38.1	
県支出金	572,834	11.6	25.9	
繰入金	69,232	1.4	△64.0	
繰越金	60,000	1.2	20.0	
村債	1,498,900	30.3	64.1	
その他	63,411	1.3	4.6	
歳入合計	4,941,160	100.0	21.4	



歳出(目的別)		単位：千円・%		
区分	当初予算額	構成比	前年度比	
議会費	66,883	1.4	5.2	
総務費	478,831	9.7	△7.5	
民生費	662,147	13.4	8.7	
衛生費	485,758	9.8	44.1	
農林水産業費	228,157	4.6	△4.5	
商工費	142,082	2.9	△18.8	
土木費	291,124	5.9	19.6	
消防費	147,281	3.0	9.1	
教育費	2,100,092	42.5	52.4	
公債費	253,762	5.1	△6.1	
その他	85,043	1.7	△17.0	
歳出合計	4,941,160	100.0	21.4	



歳出(性質別)		単位：千円・%		
区分	当初予算額	構成比	前年度比	
人件費	632,104	12.8	△1.3	
物件費	522,777	10.6	△0.7	
維持補修費	19,240	0.4	△19.5	
扶助費	233,675	4.7	3.4	
補助費等	650,936	13.2	74.9	
公債費	253,762	5.1	△6.1	
積立金	62,498	1.3	3.2	
投資及び出資金、貸付金	3	0.0	△25.0	
繰出金	318,188	6.4	△11.9	
普通建設事業費	2,225,451	45.0	42.0	
災害復旧事業費	2,088	0.1	21.7	
予備費	20,438	0.4	2.2	
歳出合計	4,941,160	100.0	21.4	



● 大宜味村女性の腸内菌調査実施のお知らせ ●



カルピス(株)発酵応用研究所腸内フローラ研究グループは、沖縄工業高等専門学校と共同で、大宜味村の長寿の秘密を腸内菌の観点から探ることを目的に、大宜味村の喜如嘉、塩屋、田嘉里にお住いの70歳代または90歳以上の女性の腸内菌調査を実施致します。この調査は大宜味村役場のご協力を得ておこなわれ、調査期間は2015年5月から2015年12月です。この期間中、カルピス(株)発酵応用研究所腸内フローラ研究グループの社員または沖縄工業高等専門学校の教員および学生が、喜如嘉、塩屋、田嘉里にお住いの方々に調査に関するご説明とご協力をお願いをさせて頂くことがあります。ご承知とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。なお、調査にご協力頂く方々の募集については、別途お知らせいたします。

【お問い合わせ】大宜味村役場 産業振興課 TEL 0980-44-3232

● 赤十字の活動にご支援を ●

各世帯年間500円の協力金が赤十字の支えです。

日本赤十字社は、人道・博愛の理念のもとに世界189ヶ国の赤十字社と連携し、災害や紛争等により飢餓、貧困、病気などに苦しむ人々を国際的に救護するとともに、国内においても各種災害救護や輸血用血液の供給、医療の提供、青少年の健全育成などの事業を積極的に実施し、内外から寄せられる期待と要望に応えております。

昨年、沖縄地方では台風8号に特別警報が発令され怪我が相次ぐ一方、最大60万人へ避難勧告が出されるなど多くの被害が発生しました。国内においては、広島県大雨災害や御嶽山噴火災害、長野県地震災害等、これまで経験したことのない災害に見舞われました。国外では、西アフリカでエボラ出血熱の感染拡大や南アジア洪水災害など、世界各地において未曾有の被害となりました。日本赤十字社では、医療救護班の派遣や救護物資の支給など、被災地のニーズに応えた活動を展開するとともに、世界の赤十字社と連携のもと、人道支援活動を推進しております。

これらの赤十字活動は、赤十字人道的事業に賛同される県民一人一人が赤十字(会員)として毎年協力いただく(会費)と寄付金を財源として行われています。

つきましては、本年度も大宜味村民の皆様には出費多端の折誠に恐縮ではございますが「人間を救うのは、人間だ。」という赤十字社の提唱をご理解いただき、ご支援ご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ】大宜味村役場 住民福祉課 TEL 0980-44-3003



絶対に
負けられない
戦いか、
そこにはある

住民参加型健康づくりイベント 大宜味村チャレンジデー2015!!

大宜味村(3,276人) VS 島根県海士町(あまちょう)(2,342人)



毎年5月の最終水曜日に人口規模がほぼ同じ自治体間で、午前0時～午後9時までの間に15分以上継続して、スポーツや運動を行った『住民参加率(%)』を競い合い、敗れた場合は対戦相手の自治体の旗をメインポールに1週間掲揚するというユニークなルールによって行われる“むらの威信と名誉”をかけた住民総参加型のスポーツイベントです。

実施場所⇒当日は、大宜味村全体が大きなグラウンドとなります。スポーツや運動をする場合は大宜味村内であれば、どこでも結構です。

(村外の方でも当日大宜味村内で運動して頂ければ参加できます。)

【注意事項】参加報告は「1人1回(票)」となります。

参加報告事項(氏名、年齢、実施場所、運動の内容)

- 電話で・・・集計センター上記報告事項を午後9時30分まで(☎:44-3006)
- FAXで・・・集計センター上記報告事項を午後9時30分まで(FAX:44-3029)
- メールで・・・tomoyuki@vill.ogimi.okinawa.jp

お問い合わせ

大宜味村チャレンジデー
実行委員会
(大宜味村教育委員会内)

決戦は5月27日(水)

狂犬病予防注射のお知らせ

1回目 平成27年6月10日(水)
※2回目の詳細は6月広報誌にて

字 名	注射接種場所	時間(所要時間)
津波	津波公民館	9時15分～9時30分(15分)
宮城・白浜	宮城公民館	9時40分～9時50分(10分)
江州	江州公民館	10時10分～10時25分(15分)
大保・押川	大保公民館	10時40分～10時50分(10分)
田港	田港公民館	11時00分～11時10分(10分)
屋古	屋古公民館	11時20分～11時30分(10分)
塩屋	塩屋公民館	11時40分～12時00分(20分)
上原	上原公民館	13時00分～13時10分(10分)
根路銘	根路銘公民館	13時20分～13時30分(10分)
大宜味・大兼久	大宜味村役場前	13時40分～13時50分(10分)
饒波	饒波公民館	14時00分～14時10分(10分)
喜如嘉	喜如嘉公民館	14時20分～14時40分(20分)
謝名城	謝名城公民館	14時50分～15時00分(10分)
田嘉里	田嘉里公民館	15時10分～15時30分(20分)

【お問い合わせ先】建設環境課 ☎0980-44-3280



村の人口

3月末現在

男 1,677人(-13)
女 1,555人(-15)
計 3,232人(-28)

世帯数 1,678世帯数(-1)
出産 1人 転入 12人
死亡 6人 転出 35人

※注()内数は対前月比

大宜味村むらづくり応援寄付
若山一博様
愛知県

大宜味村青年就農給付金事業に係るスケジュールをお知らせします。

(状況により日程がずれる場合もあります。)

- ① 5月20日(水)・・・新規就農認定審査会(第1回)
- ② 6月17日(水)・・・新規就農認定審査会(第2回)
(上記のどちらで受けても可)
- ③ 7月28日(火)・・・経営開始計画の認定申請書の受付
締め切り
- ④ 8月4日(火)・・・認定審査会(書類審査)
- ⑤ 8月6日(木)・・・認定審査会(面接・現地審査)
- ⑥ 8月7日(金)・・・審査結果の通知
- ⑦ 8月10日(月)～12日(水)・・・給付申請の受付

- ⑧ 8月13日(木)・・・給付決定の通知
- ⑨ 8月14日(金)～18日(火)・・・請求書の受付
- ⑩ 8月19日(水)・・・給付金の振込手続き

青年就農給付金事業とは就農5年未満で45歳未満の青年農業者に対し、農業に専念できる体制を支援するために年2回に分けて1年間に150万円の支給を行います。また2年目からは前年の所得に応じて給付金額が変動します。

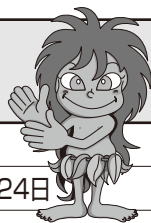
詳しくは大宜味村役場産業振興課 農政係まで 電話:0980-44-3232 ファックス:0980-44-3999

5月

May June

5月1日～6月10日

大宜味村カレンダー



1 金	◆区長会 ◆春の遠足・1年生を迎える会(大小・塩小) ◆PTA総会・部育成会総会・新任職員歓迎会(大中)
2 土	
3 日	憲法記念日
4 月	みどりの日
5 火	こどもの日
6 水	振替休日
7 木	
8 金	◆乳幼児検診
9 土	◆海外短期留学選考試験
10 日	◆わんぱく体験団①
11 月	
12 火	
13 水	◆老連定期総会
14 木	◆春の遠足(喜保) ◆人材育成審査委員会
15 金	◆春の遠足(塩保)
16 土	
17 日	◆村野球大会①
18 月	
19 火	
20 水	◆「体験の翼」募集開始～6/19
21 木	◆幼・小・中一斉授業参観日①

22 金	
23 土	◆やんばる駅伝競走伊是名島大会～24日
24 日	◆村野球大会②
25 月	
26 火	◆ESLキャンプ募集開始～6/30
27 水	◆大宜味村チャレンジデー ◆各種団体GG大会
28 木	
29 金	◆村学力向上推進委員会総会 ◆教育講演会(改善センター) ◆海外短期留学合同オリエンテーション
30 土	
31 日	
6月 June	
1 月	◆区長会 ◆村育英会評議委員会
2 火	
3 水	
4 木	
5 金	振替休日(大宜味中6/6)
6 土	◆国頭地区中学校夏季総合体育大会～7日
7 日	
8 月	振替休日(大宜味中6/7)
9 火	
10 水	

村内アレコレ



ハラール食材作りの覚書を結ぶ



3月30日、大宜味村とイスラム教徒の戒律を守る「ハラール」食材の認証を手掛けるアルハラール・アソシエイツ・リミテッド東京支社は「ハラールビジネスに関する事業提携についての覚書」を結びました。ハラールとはイスラム法で「ゆるされたこと」を意味しています。村では5月を目途に「ハラール宣言」をし、村産シークワサーのハラール認証を目指すため、農家や関係者らと協議し、具体的な取り組みを決める考えとなっています。認証されれば、農産物としては県内初となります。世界人口の1/4を占めるイスラム教徒の市場を取り込み、村の農産物の販路拡大を目指しています。

はイスラム法で「ゆるされたこと」を意味しています。村では5月を目途に「ハラール宣言」をし、村産シークワサーのハラール認証を目指すため、農家や関係者らと協議し、具体的な取り組みを決める考えとなっています。認証されれば、農産物としては県内初となります。世界人口の1/4を占めるイスラム教徒の市場を取り込み、村の農産物の販路拡大を目指しています。

手づくりの品との出会いの場「いぎみていぐま」



4月3日～5日までの3日間、村農村環境改善センターと村立場芭蕉布会館にて、おおぎみの工芸展「第12回いぎみていぐま」が開催されました。会場には陶芸や木工芸などの展示即売の他、箸作り体験やシルクスクリーンという技法を使ったTシャツプリント体験がありました。今回は新企画として、いぎみていぐま作家によるトークとオークションや大宜味ミュージシャンによるライブがあり、これまでにない賑やかなイベントとなり、来場者の中には「工芸家の方達の作品を見に来たのに、汗をかくほど盛り上がりってしまった。予想外に楽しめた。」と話していました。

4月3日～5日までの3日間、村農村環境改善センターと村立場芭蕉布会館にて、おおぎみの工芸展「第12回いぎみていぐま」が開催されました。会場には陶芸や木工芸などの展示即売の他、箸作り体験やシルクスクリーンという技法を使ったTシャツプリント体験がありました。今回は新企画として、いぎみていぐま作家によるトークとオークションや大宜味ミュージシャンによるライブがあり、これまでにない賑やかなイベントとなり、来場者の中には「工芸家の方達の作品を見に来たのに、汗をかくほど盛り上がりってしまった。予想外に楽しめた。」と話していました。

ルールとマナーを守る地道な活動



「ひとりでも まもるよやくそく みぎひだり」を運動のスローガンに4月6日～15日までの10日間、県下一斉に実施されるのに先立ち、4月3日、大宜味村役場玄関前で各字区長や建設業者の他、名護警察署職員など約50名が参加し、「春の全国交通安全運動大宜味村出発式及び車輛パレード」が行われました。式では村民668名分の飲酒運転根絶宣言の署名を名護署長に渡しました。村長は「大宜味村では交通事故のない村づくりを目指しており、昨年は飲酒運転絡みの事故が1件もなかった。新学期に入り子ども達が安全に登下校できるよう、役場職員を筆頭に交通安全を徹底したい。」と意気込みを語りました。

「ひとりでも まもるよやくそく みぎひだり」を運動のスローガンに4月6日～15日までの10日間、県下一斉に実施されるのに先立ち、4月3日、大宜味村役場玄関前で各字区長や建設業者の他、名護警察署職員など約50名が参加し、「春の全国交通安全運動大宜味村出発式及び車輛パレード」が行われました。式では村民668名分の飲酒運転根絶宣言の署名を名護署長に渡しました。村長は「大宜味村では交通事故のない村づくりを目指しており、昨年は飲酒運転絡みの事故が1件もなかった。新学期に入り子ども達が安全に登下校できるよう、役場職員を筆頭に交通安全を徹底したい。」と意気込みを語りました。

飲みやすく、思いを込めた「一番茶」



4月9日、大宜味村で唯一の茶農家である山城勝則さんが、村産の一番茶の味を伝えるため、村長室を訪れ「大宜味産の茶」を贈呈しました。今年が一番茶は3月30、31日と例年に比べ1週間～10日ほど遅い摘み取りとなりましたが、収穫量は例年通りの1.5～2tほどとなりました。茶畑には「さえみどり」という品種が栽培されており、苦みや渋みが少なく、程よい飲みやすさが特徴となっています。平成17年から茶の栽培を始め、今年で6年目の収穫となります。5月半ばには二番茶の収穫時期を迎えます。山城さんは「大宜味村は長寿村なので、村民皆さんが長生きしてくれるようにと願いを込めて作った。無農薬栽培で作っているの、安心して頂けます。美味しいお茶です。」と熱く語りました。

4月9日、大宜味村で唯一の茶農家である山城勝則さんが、村産の一番茶の味を伝えるため、村長室を訪れ「大宜味産の茶」を贈呈しました。今年が一番茶は3月30、31日と例年に比べ1週間～10日ほど遅い摘み取りとなりましたが、収穫量は例年通りの1.5～2tほどとなりました。茶畑には「さえみどり」という品種が栽培されており、苦みや渋みが少なく、程よい飲みやすさが特徴となっています。平成17年から茶の栽培を始め、今年で6年目の収穫となります。5月半ばには二番茶の収穫時期を迎えます。山城さんは「大宜味村は長寿村なので、村民皆さんが長生きしてくれるようにと願いを込めて作った。無農薬栽培で作っているの、安心して頂けます。美味しいお茶です。」と熱く語りました。

「伝統工芸染織団体」行きます！



3月18日、伝統工芸染織産業の継承と発展、さらにユネスコ無形文化遺産登録申請を目指して、「第1回伝統工芸染織団体駅伝大会(主催:NPO法人沖縄県工芸産業協働センター)」が開催されました。大宜味村をスタートして、南風

原町をゴールとし、沖縄本島を縦断するかたちで各産地の走者が走り抜け、喜如嘉芭蕉布事業協同組合は芭蕉布織物工房(字喜如嘉)から道の駅おおぎみ(字根路銘)までが担当区間で、道の駅までの各ポイントでタスキを繋ぎました。参加者は「みんなが同じ目標に向かってタスキを繋ぐことで、少しずつ目標に近づいている様に感じることができ、走ったあとは、とても気持ち良かった。」と語りました。

塩屋湾を走って楽しもう



塩屋小学校グラウンドを発着点に4月19日、「第37回塩屋湾一周トリムマソン大会」が開催されました。当日は小雨が降る中ではありますが、1086人のエントリー中938人が完走しました。各コースの沿道には地域住民の温かい声援や派手な衣装でパーランクーを叩くなど、参加者の走りを後押ししました。名護市から参加された方は「気持ちいいぐらいの雨と地域の方達の応援があって、楽しく走れた。また、来ます」と笑顔で答えてくれました。参加者の中には「ドラミちゃん」や自社の宣伝を兼ねて仮装する方もいて、賑やかな一日となりました。

塩屋小学校グラウンドを発着点に4月19日、「第37回塩屋湾一周トリムマソン大会」が開催されました。当日は小雨が降る中ではありますが、1086人のエントリー中938人が完走しました。各コースの沿道には地域住民の温かい声援や派手な衣装でパーランクーを叩くなど、参加者の走りを後押ししました。名護市から参加された方は「気持ちいいぐらいの雨と地域の方達の応援があって、楽しく走れた。また、来ます」と笑顔で答えてくれました。参加者の中には「ドラミちゃん」や自社の宣伝を兼ねて仮装する方もいて、賑やかな一日となりました。